

第7回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和2年7月29日（水） 14時00分

2. 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学事課長 森本 康幸

学校教育課長 尾松 直樹

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

社会教育課長 小林 康弘

文化財課長 村上 由樹

田園交響ホール館長 小林 純一

こども未来課長 中筋 有香

総務課長 波部 正司

地域コミュニティ課長 谷掛 昭二

教育研究所副所長 方山 直人

学事課課長補佐 大路 和浩

中央図書館係長 成田 雅俊

城東公民館係長 三輪 晴達

教育総務課係長 田中 真紀子

教育総務課主事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案 別紙の通り

6. 開会宣言 14時00分

7. 会 期

（自）令和2年7月29日

（至）令和2年7月29日 1日間

8. 会議録署名委員名簿 山本 委員

9. 閉 会 17時20分

前川教育長 全委員 前川教育長	日程第1、令和2年度第6回会議録の報告、承認について意見等はないか。異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
前川教育長	日程第2、会議録署名委員は4番山本委員とする。
前川教育長	日程第3、会期は令和2年7月29日、本日1日間とする。
前川教育長	日程第4、議案に移る。議案第1号の「令和3年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」学事課説明を求める。
森本課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	他地域において、採択された教科書と学力の関係性が示されているような論文はあるのか。例えば、教育の先進地とされる地域の教科書は、某会社の教科書が多く採択されている。学力と教科書に関係性があるのか気になったので質問をした。
酒井次長	これまでに調査したことはない。
酒井委員	様々な教科書がある中で、教科書採択という制度によって教科書が選ばれていることを学校現場の教員は認識しているのか気になった。
酒井次長	学校現場で教員として勤務していた時の認識としては、「教科書を教える」ことより、「教科書で教える」ことを意識していた。教員は教科書を採択する立場にないので、指定された教科書を有効に使って、工夫しながら児童生徒に教えること意識している教員が多いように思う。そのため、各社の教科書を比較するような考えはあまり持っていないように思う。
酒井委員	様々な視点から教科書を選ぶことは重要であると思う。働き方改革が進められている状況であるので、教員がより使いやすい教科書も選んでいく必要にあると思う。教員もそういった視点を持って、教科書を使用してほしい。今回の教科書選定においても、様々な視点から各担当者が検討して選ばれた教科書であると思うが、他地域の情報、また実際の学校現場の教員の声を多く取り入れて、今後も教科書の選定をしてほしい。多くの教材に触れることが教員の資質向上にも繋がると思う。
垣内委員	教科書展示会での一般意見については、どのように対応する予定であるのか。意見を伺うからには回答も必要であると思う。
森本課長	現時点ではご意見への回答等は予定していないが、対応を検討しなければならないと思っている。ただ、無記名でのご意見もあるので、どのように答えるのが望ましいのかも含めて検討していきたい。
前川教育長	教科書の編集者から「教科の本質」を探ることができないか検討している。編集者がどのようなことに精通しているのか、どのような研究を深めているのかを知ることで、教科書にもその知識、知見が反映されていることが予想

	される。教育研究所などでそういった視点からのアプローチもしていきたい。
前川教育長	議案第1号「令和3年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第1号の「令和3年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」可決する。
前川教育長	議案第2号の「令和2年度8月補正予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。
中野課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	学校現場が消毒作業で負担が増えている。人的な支援は整ってきているのか。
尾松課長	現在準備を進めており、事業実施については8月以降となる。
前川教育長	補足説明を行うとシルバー人材センターと会計年度任用職員の雇用により対応していく予定である。
垣内委員	社会教育課の補正予算について、非接触式電子温度計を数台導入予定とのことであるが、田園交響ホールのようなサーモグラフィの導入は不要であるのか。
小林課長	ご意見のとおり、田園交響ホールと同様の設備を導入予定としていたが、財政課との協議を行い、市の統一見解として、非接触式電子温度計の導入の予算を要求することとなった。
稲山部長	どの規模の施設までサーモグラフィを導入するのかという議論を行い、今回は多人数が集まり密な状況となりやすい施設である田園交響ホール、四季の森生涯学習センターにサーモグラフィを導入こととなった。 それ以外の施設については、利用者へ各自検温と施設利用前の非接触式電子温度計による検温で対応することを市の統一見解とした。
前川教育長	議案第2号の「令和2年度8月補正予算案を市長に提案することについて」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第2号の「令和2年度8月補正予算案を市長に提案することについて」可決する。
前川教育長	議案第3号「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」こども未来課説明を求める。
中筋課長	《議案書に基づき説明》

酒井委員 中筋課長 稲山部長	<p>今回の改正については、公設に関する部分の改正ということで良いか。そうである。</p> <p>今回の改正については、公設に関する部分のみが改正となるが、教育委員会としては、公設民営にて運営を進めていきたいと考えている。今年度、篠山チルドレンズミュージアムの指定管理者の指定期間が終了する。多紀児童クラブは、篠山チルドレンズミュージアムと同一施設内にあるため、次の指定管理者へ多紀児童クラブも運営を打診したいと考えている。指定管理者の情報を収集しながら、早めの対応をしていきたいと考えている。</p>
酒井委員	<p>保護者の関心が大きい。新型コロナ禍の対応が児童クラブ間で異なったことも含め、市内の児童クラブである一定の安定したサービスの提供ができるよう、しっかりと対応してほしい。</p>
稲山部長	<p>業者の選定、協議が早く進めることができれば、保護者へも時間をかけて丁寧な説明ができるので、できる限り迅速に対応していきたい。</p>
前川教育長 全委員 前川教育長	<p>議案第3号の「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」異議はないか。</p> <p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、議案第3号の「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」可決する。</p>
前川教育長	<p>第4号「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」こども未来課説明を求める。</p>
中筋課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>この預かり施設の設置に伴って、民間の圧迫に繋がることはないのか。また、現時点では、預かり施設の運営で対応していくことで理解しているが、将来的には幼保一体化の推進を図り、幼稚園の廃園も踏まえて進めていくことをしっかりと協議、検討してほしい。</p>
中筋課長	<p>民間の圧迫については、同地域内に私立のこども園が2園あるが、各こども園長とも十分に協議を行い、預かり時間をずらすなどの対応を図っている。保護者が各々の状況に応じて、各こども園、預かり施設を選択していただければと考えている。</p>
酒井委員	<p>民間はぎりぎりの状況で経営をしている。今後も私立園と十分に協議をして進めてほしい。</p>
前川教育長 全委員 前川教育長	<p>議案第4号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」異議はないか。</p> <p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、議案第4号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に</p>

	<p>関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第 5 号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」中央図書館説明を求める。</p>
成田係長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員 成田係長 酒井委員	<p>委員の年齢構成について教えてほしい。 50 代 3 名、60 代 2 名、70 代 1 名、80 代 1 名で、平均年齢は 63 歳である。 様々な年齢層の意見を取り入れることが望ましいと思う。今後、委員選出の際に参考にしてほしい。</p>
前川教育長	<p>議案第 5 号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」異議はないか。</p>
全委員 前川教育長	<p>異議なし。 全員賛成で、議案第 5 号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第 6 号の「丹波篠山市社会教育施設の予約の取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱の制定について」社会教育課説明を求める。</p>
小林課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員 小林課長	<p>今回の改正に伴って考えられるデメリットはあるか。 今回の改正でこれまで要綱に記載はなかったが、円滑な施設利用のために運用上で配慮をしていたことを規定した。そのため、改正に伴うデメリットはないと考えている。</p>
酒井委員	<p>これまで柔軟に対応いただいたとのことで認識した。市民が快適に施設利用できるように、今後も引き続き対応にあたってほしい。</p>
前川教育長	<p>議案第 6 号の「丹波篠山市社会教育施設の予約の取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱の制定について」異議はないか。</p>
全委員 前川教育長	<p>異議なし。 全員賛成で、議案第 6 号の「丹波篠山市社会教育施設の予約の取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱の制定について」可決する。</p>
前川教育長	<p>日程第 5、協議事項に移る。協議第 1 号「令和元年度実績教育委員会の点検・評価について」教育総務課説明を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>

前川教育長	<p>補足説明を行う。外部有識者によるヒアリングは今年度から実施するが、これは、外部有識者の一人である當山教授から、「適切な評価活動を行うために教育委員会の自己評価について問いたい」との意見をいただいたため実施することに至った。これは、昨年度からの大きな変更点である。</p> <p>本日は現時点での教育委員会事務局の自己評価について、教育委員の皆様からご意見をいただければと考えている。</p>
中村委員	<p>P. 13 の 2-1「子育ていちばんに向けて」について、教育環境の整備は必要であり、エアコン等の空調設備の設置が完了したことは良いことであると思うが、「子育ていちばん」に向けては、電気代の節約に努めたという観点でよいのか。</p> <p>P. 16 の 2-3「子どもが健全に育つ環境づくりと就学前教育の推進」について、0 歳児から就学前の一貫した保育、教育の推進を進め、いわゆる「小1プロブレム」がなく、集団の学びと基礎力を身に着けることができるように、私立、公立ともに揃えて取り組んでほしい。また、P. 16 の課題内に「将来的に3 幼稚園を廃園し、私立2 園に集約する」とあるが、市の意向をもっと示していかなければ市民は、無駄なことをしているように感じると思う。</p> <p>同じく P. 16 内で、昨年度の有識者意見に、「小学校教育との効果的な連携、一体化を図る施策が必要である。遊びを軸とした幼保の教育を小学校教育とどのように繋げていくのか。カリキュラムマネジメントの問題ととらえて施策の立案を」という意見があったが、それに対する施策が「ダンス研修会」であるということか。全体的に具体的で明確な表記としても良いと感じた。</p> <p>P. 18 の 3-1「確かな学力の確立」について、各項目で実現するための施策、取組が分かりやすく表現されている。実績と成果に対する次への展開が示されおり、評価活動を日常化する取り組みも高く評価できる。「課題の見える化」ができており、全体的に評価できると思う。また、教職員の資質向上の施策とその成果のエビデンス、今後の在り方が示されている研究所に大いに期待している。</p> <p>P. 20 の 3-2「豊かな心の育成」について、道徳教育の充実のために授業づくりへ注力したり、評価の在り方や指導力の向上を図っていることは理解できる。日々の生活の中で、身の回りのいじめや不登校に積極的にコミュニケーションを取りながら対応にあたってほしい。「道徳教育」を活かした日常生活を期待している。</p> <p>P. 28 の 4-2「子どもの学びを支える環境づくりの推進」について、コミュニティスクールの推進でさらなる課題が2 点明記されている。地域と学校を結びつけるコーディネーターはどの学校にも必要であると感じている。また、3 年間の指定最終年度を迎えるので、「丹波篠山市コミュニティスクールガイドライン」のようなものがあっても良いのではないのか。中学校においては「部活動あり方ガイドライン」も盛り込むとなお良いのではないだろうか。</p> <p>P. 30、32 の教育研究所に関する表記であるが、教育研究所はすでに開所されており、改める必要があるのではないのか。</p>

酒井委員	<p>P. 34 の 5-1 「学習ニーズに応える社会教育・生涯学習の振興」について、高齢者大学と小・中学校が交流できる環境づくり、機会づくりの充実は、地域の活性化に繋がっていると実感している。ただ、高齢者大学の受講者が減少しており、特に男性の受講者が少ないことが気になる。昨年度の点検評価で記載があったが、「高齢者大学が実感のない現実」、「まちづくりに参加・参画する機会になっていない」について、考えを問いたい。</p> <p>同じく P. 34 の 5-1 「学習ニーズに応える社会教育・生涯学習の振興」での図書館に関する記載で、登録者数、蔵書冊数の増加は素晴らしく、有難いことである。一方で入館者数が減少しているが、原因が分かれば教えてほしい。また、朝読書に注力している学校・園への本の貸し出し状況も教えてほしい。</p> <p>P. 38 の 6-2 「文化・芸術の振興」について、田園交響ホールの利用状況、本番利用数、友の会入会者数の増加は素晴らしいと思う。</p> <p>田園交響ホールの「スタインウェイピアノ」は名器であり、子ども達がこのピアノを演奏する機会が増えてほしいと思い調査をした。その結果、田園交響ホールの利用価格は妥当であると思うが、演奏会の参加料が丹波地域は都会と比べて半額程度であるので、50 名程度の規模の演奏会でなければ主催者の負担が大きくなるとのことであった。少子化が進む中で、益々「スタインウェイピアノ」を演奏する機会がなくなってしまうことを懸念している。</p> <p>同じく P. 38 の 6-2 「文化・芸術の振興」での市展に関する記載であるが、出品者、来場者数の増加は素晴らしいと思う。展示会場の動線が改善されたように思う。展示の流れが途切れず、見やすかった。市内小中学生の作品が増えれば、若年層の来場増加に繋がり、文化の継承にも繋がると思う。</p> <p>P. 43 の 7-3 「学校給食の充実と地産地消の推進」について、給食甲子園の日本一獲得、46.7%の地元産品目使用率、食べ残し、調理くず、食品廃棄物量が全国平均と比べ極めて少ないことは素晴らしいことである。給食センターの頑張りを受けて、丹波篠山市場の農家団体が地元産食材の提供に向けて取り組んでいると聞いている。子ども達のために引き続き頑張してほしい。</p> <p>P. 13 の子育て一番の内容、再考が必要であると考え。</p> <p>P. 19 学力向上プロジェクト事業について、対応についてもう少し記載がほしい。具体的な内容を述べるようにしてほしい。</p> <p>P. 20 道徳教育の充実について、「対話を通じた授業づくり」とあるが、市民の文化の中に「対話」が浸透しているのか疑問に思う。決まったことに対して、黙ってしまう文化風土があるのではと思うので、これからの丹波篠山を担う子供たちには、ここに書いてあるように「対話」を重要視してほしい。</p> <p>P. 22 の部活動のあり方について、色々課題が出ているがここに整理して書いたほうがいいのかと思う。</p> <p>P. 28 のコミュニティスクールについて、市民みんなが当事者意識を持つこと、積極的な情報公開がなければ「市民みんなの学校」としていくことは難しい。様々な課題は、コミュニティスクール内で協議すべきであり、課題をすぐに教育委員会に要望されるのではなく、学校、地元で協議してほしい。</p>
------	--

前川教育長	<p>P. 35 の高齢者大学の充実について、P. 54 に記載のデータでは満足感が少ないとされているのに危機感がない記載となっている。データを十分意識した内容で記載してほしい。</p> <p>P. 43 の給食甲子園に関する記載で課題と次なる展開が、数年続けて同じ内容である。早く解決できるようにしてほしい。当たり前のことを記載しないように気を付けてほしい。</p> <p>P. 49 の外国人児童生徒指導補助員の派遣についての記載で、学校生活に対応が出来ている外国人児童生徒がどれだけいるのか分かるような記載に変えると分かりやすいと思う。</p> <p>まず、教育委員会事務局が点検評価の方向や視点を理解しなければいけない。令和元年度の点検評価の改善点が、令和2年度の事業に反映されていなければおかしい。市民の生活がよりよくなる視点と表現の仕方を意識してほしい。</p>
垣内委員	<p>教育委員会内の自己評価をしているが、自分たちで評価すると見えない、見えにくい部分があると思う。P. 3 から P. 8 の実績に対する評価はこれまでなかった。こちらについて、有識者に意見を聞いてみたいと個人的は思っている。</p>
酒井委員	<p>教育委員会への評価も今後参考になると思う。様々な会議の議事録等も見ただいて外部有識者に評価してもらうことはとても良いことであると思う。</p>
前川教育長	<p>教育委員としても自分たちの発言、関わり方が適切であるのかという評価をいただきたいという意見であると認識した。</p> <p>判断基準として数値があるが、単純に数字を比較するのではなく、割合を重要視したい。ただ母数と子数が大事であると思う。</p>
山本委員	<p>P. 71 の食品廃棄物量の状況について、一人当たりのキログラムが出ていることについて疑問を持っている。</p> <p>P. 21 の健やかな体の育成での「陸上記録会」について、去年は実施したのか。</p>
前川教育長	<p>P. 28 のこどもの居場所づくり推進事業「通学合宿」について、自分自身この取り組みを知ったきっかけは PTA である。PTA をしていなかったら知らなかった。地域への情報発信を積極的に行うと良いと思う。</p>
酒井所長	<p>この意見に関わらず情報発信は非常に重要である。食品廃棄物量の状況については、計算式をここに記載しておけばいいのではないか。食品廃棄物に関わらず、積算根拠を示した方がよいものは記載する方向で考えたい。</p>
酒井委員	<p>毎日の食品廃棄量の記録しておき、一年分の廃棄総重量を対象人数で割って一人当たりの食品廃棄物量を算出している。</p>
酒井委員	<p>子どもの居場所づくりや、地域がどのようにあるべきであるのかというのは重要な問題であるが、丹波篠山市として、地域の中に住むなかで当事者意識を持って、「地域づくり」をやっていくことが大事である。これは地域の自主自立のためにやっているものであるということを市長部局とも協議しな</p>

前川教育長	<p>がら進めることで、子どもも高齢者も住みよい街になっていくのではないかと思う。</p> <p>全体を通して、今回の意見を反映して、冒頭に述べた外部有識者のヒアリングに臨み、よりよい「教育委員会の点検・評価」を作成していきたい。</p>
前川教育長	<p>協議第2号「兵庫県市町村教育委員会連合会から県教育委員会へのコロナ関連新規要望事項について」教育総務課説明を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
垣内委員	<p>芸能や芸術事業への補助金の拡充の充実を要請してほしいと思う。新型コロナの影響でホールの利用減少や入場者数の制限により、館の収入が大きく減少されると思う。それにより館運営が圧迫されることは市民の文化活動に影響が出てくることが予想される。</p>
小林館長	<p>新型コロナ関連で、兵庫県の補助金で利用者への利用料金の半額補助がなされている。要望内容を検討し対応していきたい。</p>
山本委員	<p>新型コロナ禍で家庭と学校の双方向でやり取りができる連絡体制がなく不安であった。</p>
前川教育長	<p>新型コロナ禍での対応について、県、市、各学校で取った対応をそれぞれ確認して、精査していかなければならないと感じている。</p>
前川教育長	<p>日程第6、報告事項に移る。報告1「寄付採納について」教育総務課報告を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
前川教育長	<p>報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
前川教育長	<p>報告3「令和元年度収納状況について」学事課・こども未来課報告を求める。</p>
森本課長・中筋課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
中村委員	<p>私立保育園保育料と認定こども園保育料が6月の児童手当で全て賄えたということであるのか。高い収納率であるが、100パーセントの収納ができない理由がもしあれば教えてほしい。また、この収納率は他市と比べ高いのか教えてほしい。</p>
中筋課長	<p>全てが6月の児童手当で充当できたわけではない。充当しきれない部分が</p>

	<p>ある。生活が厳しい世帯はわずかな保育料であっても納付が難しい世帯がある。過年度分はさかのぼって納付を促しているが、5年経過したものは不能欠損処理としている。他市の状況は調査ができていない。今後調査の対応も検討していきたい。</p>
酒井委員	<p>家庭環境によっては、どうしても保育料の支払いができない家庭も出てくるのが予想されるが、今後そういった家庭に対してどのような対応を考えているのか教えてほしい。</p>
中筋課長	<p>各家庭の状況に合わせて、相談にできる限り対応していきたいと考えている。今年度については、新型コロナの影響で収入減となった家庭もあることが考えられるので、十分に相談に応じて対応していきたい。</p>
酒井委員	<p>様々な支援制度があると思うが、保護者がそれを知らないこともあると思う。しっかりと情報を提供して、支援にあたってほしい。</p>
垣内委員	<p>現年度、過年度ともに放課後児童対策事業利用料の納入義務者数が多い理由を教えてほしい。</p>
中筋課長	<p>こちらは児童手当が充当できないため、納入義務者数が多くなっている。</p>
前川教育長	<p>報告 4「全国学校給食甲子園への応募について」学校給食センター報告を求める。</p>
酒井所長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
中村委員	<p>新型コロナの影響で給食提供が忙しい中、しっかりと準備いただいていることに感謝する。調理員、栄養教諭の人材育成にも期待している。</p>
酒井委員	<p>山椒は後川山椒と銘打って使用するなど地域の名産品をしっかりとアピールしてほしい。インパクトがあって、気を引くような表記をして目に付くようにしてほしい。</p>
前川教育長	<p>報告 5「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。</p>
尾松課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
酒井委員 尾松課長	<p>中学校の問題行動について、現状では大きな問題がないと考えてよいか。新型コロナによって例年と大きく異なる対応となるが、丁寧に対応しており、現時点では大きな問題の報告は受けていない。</p>
前川教育長	<p>報告 6「令和 2 年度 7 月小・中・特別支援学校定例校長会」学校教育課報告を求める。</p>
尾松課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>

前川教育長	報告 7「丹波篠山市史編さん委員会委員の委嘱について」中央図書館報告を求める。
成田係長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告 8「丹波篠山市における令和 4 年度（2022 年度）以降の成人式展について」地域コミュニティ課報告を求める。
谷掛課長	《議案書に基づき報告》
中村委員 三輪係長	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は、今年度の式典にあるのか。</p> <p>例年通りの実施を検討している。田園交響ホールの定員は約 800 名であるが、今年度の式典参加者は最大 400 名程度となり、十分な間隔をとることができると考えている。十分な感染症対策をとって式典を開催できるよう準備を進めていきたい。</p> <p>今後の新型コロナ感染症の状況を鑑みて、2 部制での式典とするなどの対応を検討している。</p>
前川教育長	報告 9「教育長報告」について報告する。
前川教育長	それでは、第 7 回定例教育委員会をこれで終了する。